



市内の中学生が、夏休みに姉妹都市のオーストラリア・ハーストビル市を訪問するようになって、今年で10年目を迎えました。

今年も7月24日から8月3日にかけて、市内の中学生8名が同市を訪問しました。

今月号では、訪問した中学生と引率の先生の感想を紹介します。



姉妹都市・ハーストビル市訪問の旅を終えて

白石中学校2年 井上 愛子



9時間の人生初フライトを終え、目に入った初めての海外の街、シドニー。道路沿いの家並みは、本物の赤レンガ。冬とは思えない真っ青な空と、暖かな日差し。玄関の階段に座り、その日差しを浴びながら大きな犬に本を読み聞かせているおばあさん。この風景は映画で見たことのある外国の風景そのもの。自分がその場にいることが信じられませんでした。

最初の5日間は、市内の家庭でのホームステイでした。現地の人々の優しさ、観光では体験できない生活の様子を十分体験することができました。また、その家族の女子高生が通う私立女子学校への体験入学もさせてもらいました。

その高校では、日本語の学科があり、たくさんの方が日本語で話しかけてきてくれました。

人工都市と呼ばれている首都のキャンベラも見学させていただきました。国会議事堂の中の迎賓館では、卒業式を行うことができ、結婚式も有料ですが挙げることができます。大学の卒業式を実際に見て、私はとてもびっくりしました。戦争記念館には、日本の戦闘機や潜水艦、日本の日の丸などがたくさん飾ってありました。日本とオーストラリアの意外な関係を知り、驚き悲しくなりました。

互いに仲良く交流し、それぞれの文化の違いを素直に受け入れ理解し、心が通じ合っていたならば、このような戦争は起きなかったのではないのか、と思いました。

10泊11日の滞在中、私たちはたくさんの人々と出会い楽しく交流し、ここには書ききれないほどの多くのことを学びました。この出会いを大切に、長くお付き合いをしていきたいと思っています。この機会を与えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

南半球でソーラン節を舞う！

東中学校教諭 日下 真紀

シドニーの澄み切った青空、本当に「青い」ブルーマウンテン、イルカやコアラ、カンガルーとの触れ合い、国会議事堂で行われていた卒業式での「カノン」の調べ…素晴らしい場面が次々とよみがえります。でも、今回、私が最も心に残ったことは、オーストラリアの方々の温かな心意気と、「10回生」にあたる生徒たちの成長ぶりでした。

生徒たちも私も引率者も、ホストファミリー、市役所の方々、在豪日本人の方々に大変お世話になりました。彼らに共通していることは、相手に対してとことん深く接してくれること。おざなりでない親切ぶりに、団員は皆感謝の気持ちでいっぱいです。宮城県地震が起きた際も、ホストマザーの一人が心配し、すぐ私に連絡をくださったこと。簡単な易しい英語で話してくれたこと。洗濯や上着のことなど細かな点まで配慮してくれたこと…。枚挙にいとまがありません。

生徒たちはチームワークが良く、また、積極的に新しいことにチャレンジしていました。お別れパーティーでの初の試みの「ソーラン節」。バック転も見事に決まって大成功!! バスの中では感想一人20分発表、ディベート大会。最後は英語でスピーチ。さまざまな活動にトライさせましたが、生徒たちは「エーッ」と言いながらも、やり始めると大いに乗って、楽しんでいました。見るもの聞くもの食べるもの、皆それぞれに感動し、「うれしい!」「おいしい!」の気持ちを体いっぱい表していました。話を聞くべきところもきちんと聞き、長時間待たなければならぬ場面でも、一人も弱音を吐きませんでした。

必ずこの子たちは、白石とオーストラリアの橋を築く、そして、そんな子どもたちがどんどん多くなっていけば、いずれ戦争なんてなくなってしまう。そんな未来への希望を大きく感じさせてくれる旅でした。本事業関係の皆様、心より御礼申し上げます。



白石市立福岡小学校

概要

学区は白石市街の北西部に位置し、不忘山のふもとから、長峰、八宮を加え旧国道4号線の人口密集地におよび、広大で豊かな自然に恵まれています。学校は福岡小学校と八宮、長峰、不忘の三つの分校からなっています。

本校は白石川を眼下にする伊達政宗公陣場跡の高台で、市街を一望できるところにあります。

所在地 白石市福岡蔵本字陣場1
電話 25-3359 FAX 25-1422
校長 村上 宏義
児童数 275名 学級数 10学級

校章



特色ある教育活動

◎地域との交流



◀こけしづくりの授業

地域の方々や、地域の施設との交流を教育活動の中にたくさん取り入れています。総合的な学習の時間には、地域の老人会の皆さんに縄跳びを教わったり、こけし工人の方々にこけしづくりや昔遊びを教わったりしました。

PTA親子活動では、地域にある自動車学校の協力をいただき、毎年3年生の交通安全教室をしています。

◎本校・分校交流



▲分校ソーランの授業

本校と分校の子どもたちの交流も、活発に進めています。

運動会や遠足、持久走大会などの学校行事はもちろん、授業においても、本校と分校の教員が打ち合わせをして、一緒に授業も実施しています。

教育目標

関係諸法規に立脚し、県および白石市教育委員会の教育方針を踏まえ、平和的、民主的、社会的形成者として、知・徳・体の調和のとれた人格の形成を目指す。

目指す子ども像

自ら考え、進んで勉強する子ども
明るく、思いやりのある子ども
元気よく、体力づくりにはげむ子ども

地域とともに歩む分校の活動

八宮分校

児童数17名 3学級



▲そばの種まき

八宮分校では、自然を生かして、そば作りをしています。地域の方に協力をいただき、そば打ちをし、みんなで試食する予定です。こけしや陶芸などの地域素材も取り入れています。

長峰分校

児童数6名 2学級



▲森の探検隊

総合的な学習の時間では、森の植物に詳しい地域の方とともに、分校周辺を探索し、地域の自然環境について学びました。植物の生育、森の仕組みや役割について教えてもらいました。

不忘分校

児童数5名 2学級



▲酪農の体験学習

3つの分校の交流会で、不忘地区の産業である酪農の体験学習を行いました。他の分校の子はもちろん、不忘の子どもたちも、自分たちの地区について再認識するよい機会となりました。